

	テーマ	タイトル	内容	時間(分)	主な対象					
					未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学	高校	一般
講演	動物の保全	動物たちの現状	絶滅の危機にある動物たちの現状を知り、保護の必要性や動物園の取組について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
	動物園の取組	動物園の仕事	飼育員・獣医師の仕事を中心に、動物園で働く人たちの仕事について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
		動物園で学ぶSDGs	動物園における持続可能な開発目標(SDGs)について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
		動物園の役割	動物園の主要な役割である「種の保存」「教育」「調査研究」「レクリエーション」について学ぶ	30-60			○	○	○	○
		動物園の見どころ	動物園の歴史や現在の見どころを知る	30-60				○	○	○
		動物園研究	京都市動物園で実施している研究について学ぶ	30-60				○	○	○
		ツシマヤマネコの保護増殖事業	絶滅が危惧されているツシマヤマネコの保護や動物園での取組について学ぶ	30-60			○	○	○	○
	動物の生態	動物の暮らし	野生下と飼育下での動物たちの暮らしと、動物たちの暮らしが豊かになるような動物園の取組について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
		日本の自然と動物	身近な環境や身近に生活している動物たちについて学ぶ	30-60			○	○	○	○
	動物の体と暮らし	動物の赤ちゃん	様々な動物の赤ちゃんの違いや子育てについて学ぶ	30-60	○	○	○	○	○	○
		動物のうんち	動物の食性による糞の違いや、糞が健康状態の確認に役立つことなどを学ぶ	30-60	○	○				
		動物の骨格	頭骨や手足の骨の形を見ることで、食生活・住環境などが見えてくることを学ぶ	30-60	○	○	○	○	○	○
	命のつながり	ゾウの肥料	ゾウの糞から肥料を作り、作物栽培に利用している取組や、食物循環(窒素循環)について学ぶ	30-60	○	○	○	○	○	○
		動物園と疎水の関係	動物園と疎水の歴史から、動物園で利用されている疎水について学ぶ	30-60		○	○	○	○	○
園内ガイド	動物園の取組	動物園の見どころ	動物園の歴史や現在の見どころを巡る	30-45	○	○	○	○	○	○
		動物園研究	園内を巡りながら京都市動物園で実施している研究について学ぶ	30-45				○	○	○
	命のつながり	ゾウの肥料	園内のゾウの糞からの肥料作りや作物栽培への利用を実際に見学しながら、食物循環(窒素循環)について学ぶ	30	○	○	○	○	○	○
		動物園と疎水の関係	園内で利用されている疎水を巡りながら、動物園と疎水の関係について学ぶ	30		○	○	○	○	○
実習	動物の体と暮らし	骨格標本を組み立ててみよう	骨格の仕組みを知り、生物の体の基本について学ぶ	60-90			○	○	○	○

※プログラム一覧にない内容を御希望の場合は、直接ご相談の上、学習計画書の提出をお願いいたします。

講演

定員:最大80名

動物園スタッフがお話しします。動物や動物園に関する基本的な知識を学び、視点や視野を広げることを目的としています。

場所 動物園レクチャールーム



遠隔授業(オンライン講演)も可能です!

園内ガイド

定員:最大20名

動物園内を歩きながら、テーマに沿った内容で動物園スタッフがガイドします。

場所 各動物舎など



講義実習

定員:10-30名

動物園で亡くなった動物の骨格標本を使い、実際に骨を組み立てます。体の基本や骨格の仕組みについて、体感しながら学びます。

場所 動物園レクチャールーム



実習

上記プログラム一覧の他にも、博物館実習、獣医実習、飼育実習、救護実習、高校生職場体験を実施しております。詳しくは動物園のホームページを御覧ください。また当園は、京都市教育委員会事業のひとつである「生き方探究・チャレンジ体験」推進事業の受入施設となっています。詳しくは、京都市教育委員会のホームページを御覧ください。



博物館実習の様子

教育活動やイベントの運営、動物への環境エンリッチメントに関する活動などをしていただきます。